

博物館だより

平成31・令和元（2019）年度の活動

令和2（2020）. 8

第 25 号

新潟市北区郷土博物館

〒950-3322

新潟市北区嘉山3452番地

TEL 025-386-1081

FAX 025-388-6290

museum.n@city.niigata.lg.jp



所蔵作品展 「人間はどこにいる？」

（令和元年6月1日～7月15日）展示作品

作品介绍 長沢 明（1967年、北蒲原郡豊栄町（現新潟市）生まれ）

《鳥に舟》1999年、岩絵具、箔、土、和紙、綿布、木、162.0×230.0cm

平成12（2000）年度購入

長沢明は、伝統的な「日本画」の画材に加え、土や木、鉄などの自然の素材、さらには古い既成物をも作品に取り込み、象徴性や具象的なイメージを喚起する作品を発表。日本画と現代美術の両分野から注目を集めました。

1997年から98年にかけて英国に滞在した長沢は、大英博物館の膨大な本のコレクションが放つ物質的な存在力に圧倒されます。そこに時間と知の堆積を直感した長沢は、帰国後に、古書を使ったインスタレーションやオブジェを発表し、表現やテーマの幅を広げていきました。

絵というよりも物質そのもののような絵画《鳥に舟》は、英国体験直後に制作された1点です。まるで悠久の時を旅したかのように錆びついた巨大な舟は、人類の文明の歴史を象徴する存在として、画面のほぼ全体を占めています。この舟に堆積する途方もない時間に対し、小鳥＝人間は、自らの存在のはかなさにたじろいでいるかに見えます。し

かしこの舟は、威圧的な冷たい鉄の塊ではなく、生命を抱え込むあたたかな大地のようにも感じられます。それは、直線と曲線の簡潔な造形と、空間との巧妙なバランス、そしてマティエールの工夫等によって、この圧倒的な静的世界に、わずかな動感と生のぬくもりとが与えられているからでしょう。ともすると大きな船壁＝大地は、「表現すること」を抑制し観念的な作品制作を展開してきた長沢が、再び向き合った新鮮な画面なのかもしれません。画中の小鳥は、そこにためらいつつも描き出そうとする長沢明自身のようにも見えます。

この2年後に制作された《鳥と舟》では、舟の形態がダイナミックな動勢を獲得し、鳥は、大きく翼を広げた形象と箔の効果によって、陽光を浴びて飛翔する姿に変貌します。長沢明は、この後、堰（せき）を切ったようにためらわずに生命の躍動を描き始めるのです。（神田直子）

*本作品は、「長沢明展 オワリノナイフーケイ」（主催：横須賀美術館・新潟市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会、2020.2～6）に出品。5/12～6/7までの期間、新潟市美術館で展示されました。

伝統の暮らし・技・芸能を体感！ 第29回 博物館まつり

当館では、見る・聞く・触れるなどの様々な体験を通して、郷土の伝統文化・歴史への興味と理解を深めてもらおうと、毎年、昭和43（1968）年11月3日の開館日に合わせて、博物館まつりを開催しています。令和元（2019）年度は、11月3日（日・祝）・4日（月・休）に開催しました。

今回、初めて開催した高校生の若さあふれる書道パフォーマンスや、2日間にわたり行った北区の郷土芸能（神楽・獅子舞・盆踊り・太鼓）16団体の発表には、多くの市民の声援が送られました。また、郷土芸能をより身近に感じてもらうために、当館が寄贈を受けた他門の神楽のお頭を活用したお頭をかぶる体験や、横笛や太鼓の体験を実施しました。

■ 開催日 11/2（土）～11/4（月・休）

（11/2はチャリティー骨董市のみ）

■ 参加者数 延べ1,020人（3・4日のみ）

■ 催し物内容

- ・チャリティー骨董市（11/2～11/4）
（主催 チャリティー骨董市実行委員会）
- ・豊栄高校書道部 書道パフォーマンス（11/3）
- ・郷土芸能発表会（11/3・4）（出演順）
 - 11/3 長場神楽保存会、木崎三柱会、豊栄郷土民謡保存会、内沼獅子舞保存会、正尺神楽保存会、松浜盆踊り太鼓保存会、長戸呂平成会 神楽、他門神楽保存会、新崎甚句保存会、高森神楽保存会
 - 11/4 松浜太鼓保存会、御山伊佐弥神楽保存会、内島見神楽保存会、新崎樽ばやし連、竹の通り神楽連、新崎伊佐弥神楽保存会
- ・実演・体験・チャレンジコーナー（11/3・4）
（葛塚縞手織りの実演と体験、消しゴムハンコ作り、ワラなべしき作り）
- ・横笛と太鼓で祭りばやし体験（11/4）
- ・神楽のお頭をかぶってみよう（11/4）
- ・お楽しみ抽選会（11/3・4）



郷土芸能発表会11/3（内沼の獅子舞）



郷土芸能発表会11/4（松浜太鼓）

神楽のお頭をかぶってみよう ▶



▼横笛と太鼓で祭りばやし体験



書道パフォーマンス



手織り体験



ワラなべしき作り

協力 伊藤裕美子、大月優子、倉島百合子、齋藤早苗、佐藤フミ子、成澤清子、藤田久美子、吉井雅枝、涌井修司、新潟医療福祉大学生（上條夏綺、山住優菜、五十嵐凜、石塚菜々恵、金子美咲）、新潟県立豊栄高等学校書道部（関川正枝（書道講師）、大橋朝陽、小林優花、酒井愛果、椎谷笑香、芹野しおり）、葛塚縞手織りの会、郷土芸能保存団体16団体（敬称略）

昭和のくらし展 - 4回目の展示を終えて -

昔の道具（民俗資料）や写真などを通して、50年以上前の暮らしを紹介する「昭和のくらし展」は、平成28（2016）年度から毎年テーマを変えて開催し、令和元（2019）年度で4回目を迎えました。

4回目のテーマは「住まい」の道具イロイロです。「火に囲まれた暮らしの道具イロイロ」「水回りの道具イロイロ」「住まいをきれいにする道具イロイロ」「住まいには、ほかにもイロイロ」の4つのコーナーに分けて展示し、「体験コーナー」も設け、民俗資料・写真など84点を展示しました（p.5に内容を掲載しています）。

■ 会期 令和2.1/4（土）～5/17（日）

（4/21～5/10は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館）

■ 入館者数 2,049人（1/4～3/31は1,715人、
4/1～5/17は 334人）



「住まい」の道具イロイロ 会場風景

■ 昭和のくらし展のはじまり

当館は、平成27（2015）年5月より常設展示を「阿賀北の大地と人々のくらし」というテーマでリニューアルしました。新潟市北区の歴史を紹介するなかで、かつてこの地で行われていた湿田での農作業の道具、福島潟で使われた漁具・狩猟具などの民俗資料を展示し、北区の特徴を紹介しています。

これらの生業に関する資料のほかにも、当館には、日常生活に密着した昔の暮らしの道具を多数収蔵しています。この昔の暮らしの道具を公開しながら、学校の授業の内容とも連携させることができる企画として、平成28年度より昭和のくらし展を開始しました。本展を見学に来館者が、知恵と工夫をこらした昔の暮らしに興味を持ち、さらに、常設展示も併せて見学し、今以上に北区の歴史に興味を持ってもらいたいと考えています。

■ 1回目～4回目の内容

展示を通して、物が少なかった時代に物を大切に暮らす暮らしや、知恵と工夫をこらした人々の暮らし方を知ってもらうことが一貫したテーマです。

回	年度	会期	各回テーマ
1	平成28 (2016)	11/12～ 12/18	70年前の農家の冬の仕事 (ワラ仕事・機織りに関する 道具等を展示)
2	平成29 (2017)	11/25～ H30.2/12	「食べる」の道具たち
3	平成30 (2018)	H31.1/4～ 5/19	「着る」にまつわる道具たち
4	令和元 (2019)	R2.1/4～ 5/17	「住まい」の道具イロイロ

■ 小学校の授業での利用について

本展には、小学3年生の社会科「昔の道具とくらし」の学習のために、北区内の小学校が見学に来られます。その際は、市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）に協力をいただきながら、展示資料の説明や体験の指導を行っています。見学の内容（説明・体験・ワークシートの記入等）は、各校の要望に合わせて、45～90分程度で対応しています。実際に使われた昔の道具を見たり、使ったりする体験を通して、児童たちは驚き、さらに興味を深めていました。



■ 回を重ねて、会期を変更

本展は、3回目より、年度を越えて開催することにしました。桜並木の続く緑道の脇に立地する当館では、4月以降に来館者が増えるためです。福祉施設の高齢者の利用もあり、実際に使用したことのある昔の道具を懐かしくご覧になっていたようでした。

令和2年の春（4回目）は、新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛や臨時休館により、4～5月の来館者の動向は例年と異なりましたが、次回（5回目）も、会期を令和3（2021）年1月5日～5月16日として、様々な世代に見学していただきたいと考えています。（曾部珠世）

I 展示活動

1 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 （考古・歴史・民俗・芸術（書））

2 企画展及び関連事業

(1) 常設展拡大企画

昭和の暮らし展－「着る」にまつわる道具たち－

シリーズ3回目は、約60年前までに使われていた衣類にかかわる昔の道具や写真など71点の展示を通して、北区の昔の暮らしの一端を紹介するとともに、現代とは違い、物が少なかった時代の人々の知恵や工夫を紹介した。

- ・会期 平成31.1/4（金）～令和元.5/19（日）
- ・入館者数 2,692人（4/1～5/19は1,053人）
- ・展示点数の内訳

民俗資料46点 写真22点 イラスト3点

●手織り体験と葛塚縞手織り機の実演

実施日 4/6（土）・13（土）・20（土）・27（土）、
5/4（土・祝）

講師 葛塚縞手織りの会

- むかしのおもちゃであそぼう 会期中随時
- むかしの衣類を着てみよう 会期中随時
- 展示解説会

実施日 4/27（土） 参加者数 1人

講師 曾部珠世



葛塚縞手織り機の実演

(2) 所蔵作品展「人間はどこにいる？」

所蔵作品を公開する第2回展。美術・書作品12点を紹介し、それらの作品の世界を通して「人間」の存在とそのありようを見つめる。

- ・会期 6/1（土）～7/15（月・祝）
- ・入館者数 840人
- ・展示点数の内訳

絵画7点 彫刻2点 版画1点 書2点

- ・出品作家 上田桑鳩、齋藤満栄、高野常与志、
高橋清、富岡惣一郎、長沢明、
羽田信彌、本間公司、味方海山

●作品鑑賞会

実施日 6/ 9（日） 参加者数 19人

実施日 6/30（日） 参加者数 12人

実施日 7/14（日） 参加者数 10人

講師 神田直子

(3) 第22回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなみ、新潟市内の小学校3年生～中学校3年生を対象に、書に親しむ機会づくりの環境として開催。令和元年度から新しい課題で出品を募った。入賞作品229点を展示。また、中学1年生の課題「河童の沼」にちなみ、文学作品『河童のユウタの冒険』に関連するパネルを展示。

・会期 7/27（土）～8/25（日）

・入館者数 1,133人

・審査員（50音順）

伊豆名皓美氏（にいがた文化の記憶館 学芸員）

岡村 鉄琴氏（新潟大学教育学部 教授）

小黑 五稜氏（書家・新潟県書道協会顧問）

和泉 哲章（新潟市教育委員会副参事）

・応募校等

北区内 …小学校12校

中学校 6校

市内他区…小学校 1校

中学校 3校

書道教室… 9校

個人応募… 2人

・学年別応募数内訳（点）

（ ）内は教室・個人

小3	511（ 51）
小4	679（ 77）
小5	490（ 45）
小6	493（ 54）
中1	397（ 37）
中2	97（ 29）
中3	89（ 23）
合計	2,756（316）

- ・入賞者数 松蔭賞 7人（各学年1人）
229人 優秀賞 21人（各学年3人）
特選 70人（各学年10人程度）
佳作 131人（各学年20人程度）



「人間はどこにいる？」作品鑑賞会



第22回 松蔭賞書道展

(4) 第13回 新潟市北区こども科学展

北区の小・中学校の児童・生徒を対象に、科学教育の振興を図ることを目的に開催。子ども達の創意工夫、探究心あふれる作品237点を一堂に展示し、広く市民に紹介した。最優秀賞3人、優秀賞12人を選出。

なお、令和元年度に部門のひとつを「自然科学写真の部」から「観察・実験の部」と変更した。

- ・会期 9/21(土)～10/14(月・祝)
- ・入館者数 1,319人
- ・審査員 永井 一哉(新潟市立濁川中学校長)
桑原 通泰(新潟市立豊栄南小学校長)
今井 真悟(新潟市北区教育支援センター 指導主事)
参宮 直樹(新潟市北区副区長/北区地域総務課長)
木村 隆行(当館館長)
- ・出品校 北区内小学校 12校
- ・出品点数(出品者数) …237点(237人)
 - 模型の部 …116点(115人)
 - 標本の部 … 16点(16人)
 - 発明工夫の部 … 14点(14人)
 - 観察・実験の部 … 91点(92人)

(5) みると使う アートと道具のはざま展

生活のなかで使われた「道具」の美、「実用」における工芸美を再認識するとともに、「みる」ことに特化した「アート」のありようをみつめる企画展。

日常を超えた「アート」の世界に触れてもらうことを主眼とし、民具や工芸品などの《道具》と、道具の外観を呈する《アート》、そのはざまに成立する《用と美の造形》という3部構成を試みた。作品28点を展示した。

- ・会期 11/16(土)～12/15(日)
- ・入館者数 642人
- ・展示点数の内訳 ※太字は当館所蔵資料
 - 立体造形10点 **版画2点** **看板1点**
 - 衝立1点** **屏風1点** **陶磁1点**
 - 中国文房具6点** **染織1点** **中国家具1点**
 - 工業製品1点** **民具3点**
- ・出品作家 池田純夫、猪爪彦一、上田桑鳩、帰山雲涯、鈴木香雲、弦巻松蔭、羽田信彌、深井隆、古川敏郎、村穂久美雄

●作品鑑賞会

- 実施日 11/17(日) 参加者数 11人
- 実施日 12/ 8(日) 参加者数 3人
- 講師 神田直子

(6) 常設展拡大企画

昭和のくらし展 - 「住まい」の道具イロイロ

約50～70年前まで使われた道具から、昔の生活、人々の知恵・工夫を紹介するシリーズの4回目。囲炉裏の回りや水回りなどの「住まい」に関わる道具や写真など84点を展示(p.3に関連記事)。

- ・会期 令和2.1/4(土)～5/17(日)
(4/21～5/10は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館)
- ・入館者数 2,049人(1/4～3/31は1,715人)
- ・展示点数の内訳 民俗資料56点(参考資料2点含む)
写真22点 イラスト6点
- 手織り体験と葛塚縞手織り機の実演
実施日 1/11(土)・18(土)・25(土)、2/8(土)・22(土)
(3/14・28、4/11・25、5/9は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
講師 葛塚縞手織りの会
- ふろしきで包んでみよう 会期中随時(5月から中止)
- 昔のおもちゃで遊ぼう 会期中随時(3月から中止)
- 天びん棒を担いでみよう 会期中随時(5月から中止)



第13回 北区こども科学展



みると使う アートと道具のはざま展



昭和のくらし展(小学校3年生の見学)

II 教育普及事業 （講座・教室・講演会・講師派遣等）

（1）講演会「わたしたちの美術館」のかたち

- ・主催 阿賀北美術協会
- ・事業名 美術館に係る学習会
- ・期日 6/15（土）
- ・講師 神田直子（講師派遣）
- ・参加者数 80人
- ・会場 新発田市生涯学習センター

（2）夏休み はくぶつかん体験コーナー

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。特色ある区づくり事業「公共施設利用促進バス事業」（担当：北区地域総務課）に伴い開催。

- ・開催期間 7/27（土）～8/18（日）
- ・期間中入館者数 942人
（葛塚東小学校ひまわりクラブ148人の利用を含む）
- ・内容
大きな折り紙で遊ぼう（新聞紙などを活用した折り紙）
北区パズル（「北区のお宝マップ」を活用したパズル）
金文クイズ（漢字の成り立ちを学ぶクイズ）
野良着を着てみよう
- ・協力 当館市民ガイド

（3）講座「美術鑑賞 名画をめぐる」

- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・期日 8/10（土）
- ・講師 神田直子（講師派遣）
- ・参加者数 40人
- ・会場 新潟市葛塚コミュニティセンター

（4）ふるさと歴史講座（講座と見学会）

- ・主催 新発田市豊浦地区公民館
- ①講座「福島潟と人々の暮らし」
 - ・期日 8/20（火）
 - ・講師 曾部珠世（講師派遣）
 - ・参加者数 30人
 - ・会場 新発田市豊浦地区公民館
- ②新潟市北区郷土博物館見学会
 - ・期日 8/27（火）
 - ・講師 曾部珠世
 - ・参加者数 20人
 - ・常設展示説明協力 市民ガイド1人

（5）第29回 博物館まつり

見る・聞く・触れるなど様々な体験を通して、郷土の伝統文化、歴史などを紹介した（詳細はp.2参照）。

- ・開催日 11/2（土）～11/4（月・休）
- ・参加者数 延べ1,020人（3・4日のみ）

（6）講座「現代美術入門

ー道具と芸術（アート）はどこが違うのかー」

- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・期日 11/9（土）
- ・講師 神田直子（講師派遣）
- ・参加者数 40人
- ・会場 新潟市葛塚コミュニティセンター

（7）講座「昔の冬の暮らし」

- ・主催 新潟市豊栄地区公民館
- ・事業名 ご近所だんぎ
- ・期日 令和2.1/9（木）
- ・講師 曾部珠世（講師派遣）
- ・参加者数 30人
- ・会場 新潟市豊栄地区公民館

（8）レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力



夏休み はくぶつかん体験コーナー（大きな折り紙で遊ぼう）



新発田市豊浦地区公民館ふるさと歴史講座（見学会）

Ⅲ ふるさと学習への対応

(1) 学校教育の一環としての利用

常設展示及び企画展「昭和の暮らし展」などの見学を通して、小学3年生の「昔の道具と暮らし」、小学4年生の「福島潟の干拓の歴史」などの説明を行い、学校教育の一環としての博物館利用に対応し、学習の場を提供した。対応にあたり、市民ガイドの協力をいただいた。

①高志中等教育学校

(「総合的な学習の時間」インタビュー対応)

- ・期日と人数 6/27(木)・10人(生徒)
- ・会場 新潟市北区役所
- ・出席 木村隆行

②木崎小学校・笹山小学校3年生

(出前授業「木崎地域ってどんなところ?」)

- ・期日 7/4(木)
- ・人数 木崎小学校3年生59人、笹山小学校3年生13人
- ・会場 新潟市立木崎小学校
- ・講師 木村隆行

③葛塚東小学校2年生

(生活科「わたしの町大すき」での見学)

- ・期日と人数 9/26(木)・3人(児童)
- ・会場 常設展示室
- ・講師 木村隆行

④葛塚東小学校4年生(社会科「昔から今へと続くまちづくり 福島潟の干拓の歴史」)

- ・期日と人数 11/20(水)・28人
11/22(金)・62人
11/27(水)・29人
- ・会場 常設展示室
- ・講師 曾部珠世

⑤早通南小学校3年生(新潟市文化財センター主催 出前授業「昔の暮らし・昔のあそび」への協力)

- ・期日と人数 11/26(火)・101人
- ・会場 新潟市立早通南小学校
- ・講師 木村隆行、齋藤加奈

⑥岡方第二小学校3年生(昔の農業について)

- ・期日と人数 12/18(水)・16人
- ・会場 常設展示室
- ・講師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド2人

⑦木崎小学校3年生(社会科「昔の道具と暮らし」)

- ・期日と人数 令和2.1/16(木)・31人
1/22(水)・32人
- ・会場(両日) 常設展示室、ホール「昭和の暮らし展」
- ・講師(両日) 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド3人

⑧岡方第二小学校3年生(社会科「昔の道具と暮らし」)

- ・期日と人数 1/16(木)・14人
- ・会場 ホール「昭和の暮らし展」
- ・講師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド2人

⑨葛塚小学校3年生(社会科「昔の道具と暮らし」)

- ・期日と人数 1/17(金)・62人
1/21(火)・59人
- ・会場(両日) 常設展示室、ホール「昭和の暮らし展」
- ・講師(両日) 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド3人

⑩葛塚東小学校4年生

(「福島潟の干拓の歴史」インタビュー・昔の道具調査)

- ・期日と人数 2/12(水)・60人
2/14(金)・40人
- ・会場(両日) 常設展示室
- ・講師(両日) 曾部珠世

⑪葛塚東小学校3年生(社会科「昔の道具と暮らし」)

- ・期日と人数 2/19(水)・60人
- ・講師 齋藤加奈、市民ガイド2人
- ・期日と人数 2/26(水)・30人
- ・講師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド1人
- ・期日と人数 2/28(金)・30人
- ・講師 齋藤加奈、市民ガイド2人

- ・会場(3日間とも) ホール「昭和の暮らし展」

(2) 一般の地域学習の場としての利用

①新発田市豊浦地区公民館主催 当館見学会(再掲)



葛塚東小学校4年生 福島潟の干拓の歴史



早通南小学校3年生 出前授業(昔のあそび)

Ⅳ 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動

（1）市民ガイドの活動実績

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行った（登録13人）。

- ・一般団体見学対応 4回
見学者146人、市民ガイド延べ9人
- ・個人見学対応（大型連休、こども科学展会期中の土日祝の待機ほか）24回
見学者425人 市民ガイド延べ54人
- ・学校見学対応（再掲）9回
見学者334人 市民ガイド延べ21人

（2）市民ガイド研修

ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

①新潟市文化財センター企画展見学・講演会の聴講

講演会「古代の阿賀北ー北方社会との接点を探るー」（講師 加藤学氏・福島県教育庁文化財課）の聴講と、企画展「砂丘と遺跡Ⅲー阿賀北の砂丘上の遺跡ー」の展示説明会（講師 遠藤恭雄学芸員、今井さやか文化財専門員）に参加し、理解を深めた。

- ・実施日 5/19（日）
- ・研修場所 新潟市文化財センター
- ・参加者数 市民ガイド4人
- ・担当 木村隆行、曾部珠世

②当館企画展関連研修・情報交換

「所蔵作品展 人間はどこにいる？」の市民ガイド向け研修（担当 神田）と、平成30年度のガイド実績報告、ガイドを行う上での課題などの意見交換（担当 曾部、齋藤）を行った。

- ・実施日 6/30（日）
- ・研修場所 当館
- ・参加者数 市民ガイド8人
- ・担当 神田直子、曾部珠世、齋藤加奈

③新潟県立文書館特別企画展見学・解説講座の聴講

特別企画展「江戸時代の庄屋さまは超多忙!?!～越後・佐渡の村役人の世界～」の見学と、解説講座（講師 横田亮氏・同館主任文書研究員）の聴講をし、近世文書についての理解を深めた。

- ・実施日 11/6（水）
- ・研修場所 新潟県立文書館
- ・参加者数 市民ガイド3人
（ほかに、北区古文書解読研修会より3人）
- ・担当 木村隆行、曾部珠世

④ガイド実践研修

小学校のふるさと学習での常設展示の説明や昭和のくらし展の説明に対応するための、「予習・実践・振り返り」等の実践的な一連の研修を行った。

- ・実施日 12/17・18、
1/10・11・16・17・21・22、
2/19・26・28 ※太字は予習
- ・研修場所 当館
- ・参加者数 市民ガイド延べ12人
- ・担当 曾部珠世



市民ガイドによる団体への常設展示ガイド



市民ガイド研修 新潟市文化財センター企画展見学



市民ガイド研修 当館企画展での研修

Ⅴ 開館50周年記念誌の発行

「開館50周年記念誌 新潟市北区郷土博物館年報・紀要 2009.4－2019.3」を作成（詳細はp.12参照）。

VI 博物館実習生等の受け入れ

(1) 博物館学芸員養成課程履修の実習受け入れ

- ・新潟大学4年生 2人
- ・8/22(木)～8/30(金)のうち7日間

(2) 中学生職場体験

- ・新潟市立光晴中学校2年生 2人
- ・7/2(火)～7/4(木)の3日間



大学生の博物館学芸員実習

VII 資料(指定文化財を含む)の保管・整理

(1) くん蒸処理の記録

- ・収蔵資料くん蒸処理 10/21(月)～10/25(金)
平成30(2018)年度「昭和の暮らし展」で展示した民俗資料、新収蔵資料等をくん蒸し、郷土資料収蔵庫に収蔵した。
- ・防虫防菌処理 郷土資料収蔵庫 10/23(水)

(2) 収蔵資料等の整理(外部依頼)作業の記録

- ・歴史資料の再整理(杉本耕一氏へ依頼)
 - ・資料名 市指定文化財「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書
 - ・作業日数 延べ4日

VIII 北区の文化財(指定文化財ほか)の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

- ①市指定文化財の歴史資料の再整理
 - ・「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書の再整理(再掲)
- ②地震等による被害調査及び活用等についての調査
 - ・法淳寺(市指定文化財)地震被害確認 6～7月
 - ・太古山日長堂(国登録文化財)活用等の相談・調査 10月

(2) 公開活用

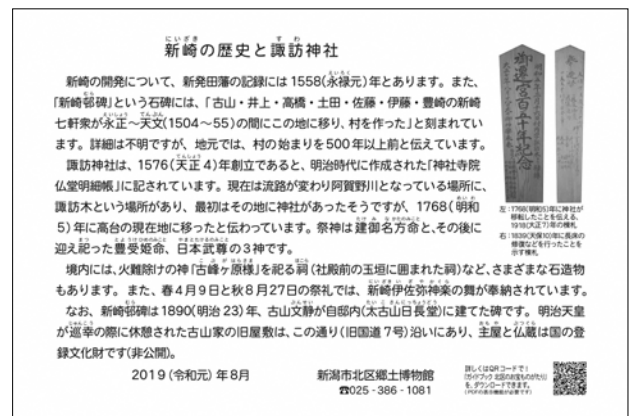
- ①指定文化財資料の他館への貸出
 - ・木崎小作争議関係資料3点(新潟市歴史博物館)
 - ・上黒山遺跡出土品5点(新潟市文化財センター)

②市指定無形民俗文化財等の郷土芸能の公開

- ・博物館まつり「郷土芸能発表会」(再掲)
 - ・開催日 11/3(日・祝)・11/4(月・休)
 - ・出演団体 2日間で16団体(団体名はp.2に掲載)

③文化財等説明板の設置・修繕

- ・板面修繕 2件
(新崎の歴史と諏訪神社、新崎に残る新井郷川の川跡)
- ・塗装 2件
- ・文化財等説明板にQRコード追加 18件
QRコードを読むと、『ガイドブック 北区のお宝ものごたり』が表示され、詳しい説明等を読めるようにした。



右下にQRコードを付けた文化財等説明板

(3) 指定天然記念物の保護育成

- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」についての対応。

IX 特色ある区づくり事業「郷土芸能伝承支援事業」

(平成29年度～令和元年度の3カ年事業の最終年度)

- (1) 過去に撮影した映像のデジタル編集とDVD制作
詳細はp.12参照。

- (2) 北区の地域のまつりについての情報発信

当館ホームページに「神楽・獅子舞マップ」と各地域の春・秋まつりの日程等を掲載した。また、「北区役所だより」8月4日号に秋まつりの日程等を掲載し、情報発信をした。

- (3) 神楽のお頭の幕製作

他門神楽保存会から寄贈を受けたお頭を展示や体験で活用するために幕を製作した。

- (4) 博物館まつり「郷土芸能発表会」(再掲)

※郷土芸能伝承支援事業の3年間の事業報告は、『開館50周年記念誌』p.43・98～113に掲載した。

I 展示活動

1 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 （考古・歴史・民俗・芸術（書））

2 企画展及び関連事業

新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館や学校の休校措置等により、事業の中止や日程の変更をした。例年開催する「新潟市北区こども科学展」は、令和2年度は中止。また、今後も日程・内容等が変更する場合がある。

（1）常設展拡大企画

昭和の暮らし展－「住まい」の道具イロイロー

前年度1月からの継続。シリーズ4回目。50～70年くらい前まで使われていた水回りや囲炉裏の回りの道具や写真等を展示し、昔の暮らしを紹介する。

- ・会期 令和2（2020）年1/4（土）～5/17（日）
- ・会期中の催し 展示解説4/11（土）

（2）－写真と映像、そして本物で見る－

北区の神楽と獅子舞のここに注目展

北区には多くの郷土芸能が受け継がれ、神楽・獅子舞は18団体が活動中である。平成29年度～令和元年度の特徴ある区づくり事業などで撮影した写真・映像、資料を通して、北区の郷土芸能を紹介する。

- ・会期 6/6（土）～7/12（日）

（3）所蔵美術作品特別展示 福島潟が育んだ水絵の文化

北区の豊栄地域に根付いている水絵（水彩、日本画）の文化を、五十嵐道雄、高野常与志、月岡徳恵の自然をみつめる眼を通して考える。

- ・会期 7/23（木・祝）～8/23（日）

（4）第23回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催する競書大会。書に親しむ機会作りの一環として児童・生徒から課題作品を公募して開催。入賞作品238点を展示予定。

- ・主催 新潟市北区
- ・会期 9/12（土）～10/11（日）
- ・対象 新潟市内の小学校3年生～中学校3年生

（5）美術にみる型とシンボル展－図像の伝統と現代－

新潟出身の作家の長沢明、北條佐江子、ワタナベメイの作品にみる図像表現を、「虎図」、「達磨図」、ひな人形などの伝統的な作品と対照しつつ紹介する。

- ・会期 11/14（土）～12/13（日）
- ・作品鑑賞会 11月、12月

（6）常設展拡大企画 昭和の暮らし展（シリーズ5回目）

約半世紀前まで使われていた道具等から、昔の暮らしや人々の知恵と工夫を紹介。体験コーナー設置予定。

- ・会期 令和3（2021）年1/5（火）～5/16（日）

II 教育普及事業（講座・教室、レファレンス等）

例年開催している「夏休み はくぶつかん体験コーナー」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

1 第30回 博物館まつり

郷土芸能発表会、書道パフォーマンス、葛塚縞手織り実

演・体験、ワラ細工作りなどを通して、昔の暮らしや伝統文化に触れる機会とする。

- ・開催日 11/3（火・祝）

2 ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

3 レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポートや関連図書の見学対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

4 刊行物販売

III 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動

市民ガイド研修（スキルアップ研修・情報共有・情報交換）の実施、来館者対応についての調整の事務等。

IV 博物館実習等の受け入れ

1 博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

- ・期間 8/28（金）～9/11（金）のうち7日間

2 体験学習等の受け入れ（中学生・高校生の職場体験）

V 郷土資料収蔵庫・横井の丘ふるさと資料館の管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止
- ・空調管理（郷土資料収蔵庫のみ）

VI 所蔵資料（指定文化財含む）の保管・整理

- ・くん蒸処理（各分野の所蔵資料・新収蔵資料等）
- ・歴史資料の整理作業（目録化等）
- ・民俗資料の整理作業（台帳化、郷土資料収蔵庫内の配架等）
- ・美術作品の整理作業（台帳整理等）
- ・整理作業の外部依頼（歴史資料目録のデータ入力等）

VII 北区の文化財（指定文化財ほか）の関連事業

1 調査整理

- ・木崎小作争議関係資料の修復にかかる調査（Ⅷを参照）

2 公開活用

- ・郷土芸能発表会（博物館まつり）（再掲）
- ・文化財等説明板の修繕、QRコードの追加

3 保護育成

- ・くん蒸処理（収蔵資料等）（再掲）
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応

VIII 木崎村小作争議100周年事業

（令和2～4年度 特色ある区づくり事業）

令和4（2022）年度の100周年に開催予定の企画展等に向けて、資料所在確認調査や展示予定の指定文化財の歴史資料「看板（無産農民学校西入口）」の修復のための準備を進める。

平成31・令和元(2019)年度 入館状況

12/28～1/3は年末年始のため休館。分館 横井の丘ふるさと資料館は現在休館中。

月別	入館者数(人)	主な行事
4月	698	昭和のくらし展－「着る」にまつわる道具たち 1/4～5/19
5月	527	昭和のくらし展－「着る」にまつわる道具たち 1/4～5/19 (計2,692人 ※4/1～5/19は1,053人)
6月	589	所蔵作品展 人間はどこにいる? 6/1～7/15
7月	606	所蔵作品展 人間はどこにいる? 6/1～7/15 (840人) 第22回 松蔭賞書道展 7/27～8/25
8月	1,003	第22回 松蔭賞書道展 7/27～8/25 (1,133人)
9月	1,048	第13回 新潟市北区こども科学展 9/21～10/14
10月	798	第13回 新潟市北区こども科学展 9/21～10/14 (1,319人)
11月	1,557	第29回 博物館まつり 11/2～4 (11/3・4は延べ1,020人) みと使う アートと道具のはざま展 11/16～12/15
12月	354	みと使う アートと道具のはざま展 11/16～12/15 (642人)
1月	671	昭和のくらし展－「住まい」の道具イロイロ 1/4～5/17
2月	738	昭和のくらし展－「住まい」の道具イロイロ 1/4～5/17
3月	306	昭和のくらし展－「住まい」の道具イロイロ 1/4～5/17 (1/4～3/31は1,715人)
合計	8,895	

■館外事業参加者数 合計173人
・出前授業(北区内小学校) 7/4・11/26 (173人)

寄贈資料紹介

平成31・令和元(2019)年度、次の方々より貴重な資料の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

【美術資料】

師尾 守様(新発田市) ……佐野鶯撰画 軸1点

【歴史資料】

旗野 博様(阿賀野市) ……眞嶋家関係文書 一式

早川ミハル様(北区) ……7.17水害の写真29枚

齋藤 道哉様(北区) ……地券4点・遠藤七郎書状 軸1点

久保田好生様(東京都) ……大正十五年八月 北蒲原郡木崎村学校問題二関スル調査(新潟県作成) 1点

竹内 功様(西蒲区) ……浅沼稻次郎書「解放」 軸1点

五十嵐 基様(五泉市) ……大山郁夫書「自由」 扁額1点

阿部美恵子様(北区) ……木崎争議六十周年 三宅正一先生を偲ぶ阿賀北集会記念資料 一式

【民俗資料】

蒲澤 修様(北区) ……銅製風呂1点

齋藤 道哉様(北区) ……裁ち板・看板「青物乾物商 八百幾店」など(点数整理中)

白井 正様(北区) ……黒電話・硯箱・五つ玉そろばん 計3点

他門神楽保存会様(北区) ……他門の神楽のお頭1点

高橋 博隆様(北区) ……洗濯板1点

小池 一司様(北区) ……棒ばかり3点・杵2点

早川ミハル様(北区) ……魔法瓶・へら台など(点数整理中)

【図書】

村山 幹夫様(東区) ……下山地区郷土史編纂委員会編「下山郷土史 一先人のあゆみを子供たちへつなぐ」

新発田郷土研究会様(新発田市) ……新発田郷土研究会編「新発田郷土誌 第47号」

上松 鉄雄様(北区) ……阿賀路の会編「阿賀路 東蒲原郡郷土誌 第五十七集」

羽賀 一蔵様(北区) ……羽賀一蔵著「金林宮」「浦木のとんとん昔」など4冊

橋本 博文様(西区) ……新潟大学考古学研究室編「新潟大学考古学研究報告18」

【寄贈のお願い】

当館では、松浜・濁川・南浜地区の歴史資料や昔の暮らしを知る道具(特に塩作り・葉たばこ作り・漁業関係)など、資料の充実を図るため収集活動を行っています。ご寄贈いただける資料がありましたらお知らせください。

『開館50周年記念誌』を発行しました

昭和43(1968)年11月3日に開館した当館は、平成30(2018)年11月3日に開館50年を迎えました。これを記念し、令和元(2019)年度に本書を作成しました。

書名 『開館50周年記念誌 新潟市北区郷土博物館年報・紀要2009.4-2019.3』

発行年月日 令和2(2020)年3月31日

規格及び発行部数 A4判128頁、400部(非売品)

配付先 新潟市内外の主な博物館・美術館・図書館・文化行政機関
大学等の研究機関、大学図書館、国会図書館、本誌論文関係研究者
新潟市北区の学校及び関係者、当館関係者、本誌作成協力者 ほか

内 容

- ・事業報告(2009.4-2019.3)
- ・資料編 要覧(2019.3)
- ・紀要編 研究論文と事業報告(2020.3)

「新潟市北区郷土博物館所蔵文書の整理状況と課題」／杉本 耕一(越佐歴史資料調査会 世話人・新潟市北区郷土博物館協議会 前会長)
新潟市北区の戊辰

「新しい時代を求め行動した草莽の人、北辰隊長 遠藤七郎

—新たに確認された史料の紹介と今後の課題—／曾部 珠世

「西郷隆盛 新潟松浜滞陣の謎」について／小島 勝治(新潟市北地区歴史文化研究会 会長・新潟市北区郷土博物館協議会 委員)

「新潟市北区郷土博物館による郷土芸能伝承支援の取り組みについて」／木村 隆行・齋藤 加奈

「弦巻松蔭 その模索と創作の軌跡—師上田桑鳩の芸術思想から考察する—」／神田 直子

※本書は、有償頒布をしていませんので、研究論文等をご覧になりたい場合は、当館へご連絡・ご来館いただくか、新潟市内外図書館等をご利用ください。



郷土芸能伝承支援として、記録映像でDVDを制作。貸出を開始しました！

平成29(2017)年度～令和元(2019)年度の3カ年で郷土芸能伝承支援事業(特色ある区づくり事業)を行いました。本事業では、1年目に、平成14(2002)年以前に撮影し、VHSテープに保存していた指定文化財等の神楽・獅子舞・盆踊りの映像をデジタル化し、2年目に、平成21(2009)年に撮影した新崎伊佐弥神楽等の映像のデジタル化を行いました。3年目の令和元年度には、神楽・獅子舞を奉納する北区の秋まつりを、映像と写真に記録し、さらに、2年間でデジタル化した映像と新たに撮影した映像に、それぞれ編集を加え25種類のDVDを制作しました。

これらのDVDは、当館で保存するほか、北区内公共施設等に配付しました。現在も行われていない芸能の映像もあり、貴重な記録です。当館では、貸出も行っていますので、ぜひご覧ください。



秋まつりの撮影(長場の神楽)

貸出を開始した25種類の郷土芸能のDVD(数字は撮影年)

- | | | |
|---------------|------------------------|---------------|
| ・他門の神楽 2001 | ・正尺の神楽 1994、2002 | ・嘉山の神楽 2002 |
| ・葛塚盆踊り 2001 | ・鳥屋の神楽 1993 | ・内島見の神楽 2001 |
| ・木崎の神楽 1996 | ・御山伊佐弥神楽 2017、2019 | ・新崎のまつり 2009 |
| ・高森新田の神楽 1994 | ・高森の神楽 2002 | ・太子堂の神楽 1994 |
| ・大久保の神楽 1997 | ・長戸呂の神楽 2019 | ・大瀬柳の神楽 1997 |
| ・長戸の神楽 1995 | ・長場の神楽 1995、2002(2種類) | |
| ・内沼の神楽 1996 | ・内沼の獅子舞 1993、2001(3種類) | |
| ・竹の通りの神楽 1995 | ・下土地亀の神楽 1995 | ・北区の秋まつり 2019 |



制作したDVD『北区の秋まつり 2019』

配付先

- 各保存団体(または自治会)
- 木崎・長浦・岡方の各地区コミュニティセンター、濁川まちづくりセンター
- 左記の芸能が伝承する地区の小学校
- 新潟市立豊栄図書館